FUJITSU

B7FH-5781-01 Z0-00

PRIMERGY TX300 S4

ラックマウント変換機構を選択された方へ

このたびは弊社の製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
本紙をご覧になり、PRIMERGYを使用する準備を行ってください。

お買い上げの PRIMERGY TX300 S4 は、ラックに搭載して使用するラックタイプです。
本紙では、サーバをラックに搭載する方法について説明しています。
本紙をご覧になり、PRIMERGY TX300 S4 を正しくお使いいただきますよう、お願いいたします。

1 ラックマウントキットの内容を確認する

本サーバには、ラックに搭載するためのラックマウントキットが同梱されています。
最初に、以下の部品がすべて揃っていることを確認してください。万一、欠品・不良品などがあった場合は、担当営業員にご連絡ください。

□ スライドレール× 1 [左] [右]	□ M3 サラネジ× 4	□ M5 サラネジ× 2
	□ ワッシャー× 2	□ M5 ラックナット× 4
	□ TX300 S4 搭載用テンプレート	□ タグラベル

2 サーバ本体をラックへ搭載する

サーバ本体をラックへ搭載するまでの手順について説明します。
本手順内の左または右の向きは、ラックを正面から見たときのものです。

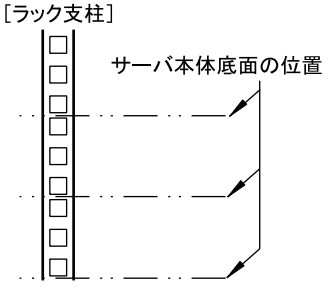
- ラックは必ず固定し、転倒防止用スタビライザを取り付けてください。ラックの設置に関する詳細は、ラックに添付のマニュアルを参照してください。
- サーバ本体の総重量は 35kg を超えますので、運搬は必ず 3 人以上で行い、サーバ本体の左右側面および底面を持ってください。

1 ラックのフロントドアとリアドアを開けます。

2 スライドレールと、ラックナットの取り付け位置を決めます。

ラック支柱の穴の間隔が狭い位置（下図を参照）のいずれかに、サーバの底面がくるように合わせます。

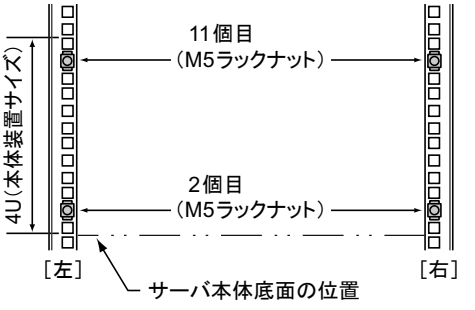
[ラック支柱]



3 M5 ラックナットを取り付けます。

1 台の筐体につき 4U 使用します。サーバ本体を取り付ける位置の下から 2 個目と 11 個目の位置に、ラック支柱の内側から上下にツメを引っ掛けて取り付けます。同梱の TX300 S4 搭載用テンプレートを使用してください。

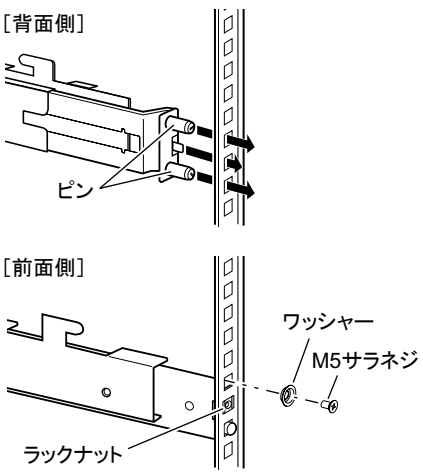
[ラック支柱前面]



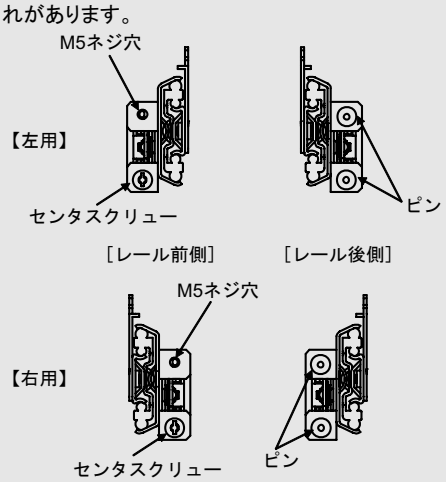
4 スライドレールをラックに取り付けます。

背面側から先に取り付けます。1 個目と 3 個目の位置に、レールのピンを差し込んで固定してください。前面側は、3 個目の位置をワッシャーと M5 サラネジで固定してください。

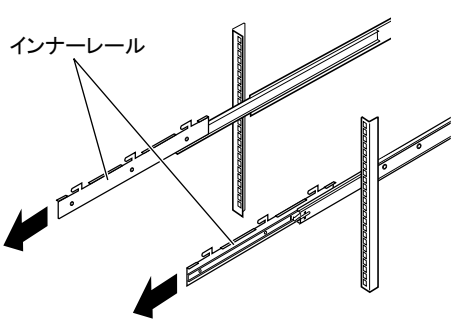
■右側レールの取り付け方法



スライドレールは左用と右用があります。下図を参考に、左用と右用を確認してください。間違えて取り付けた場合、サーバ搭載時に、レールが破損するおそれがあります。

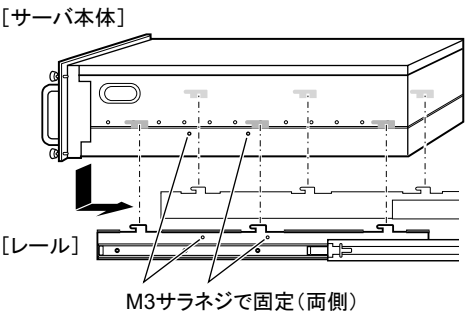


5 スライドレール内側に収納されているインナーレールを、「カチッ」と音がするまで手前に引き出します。



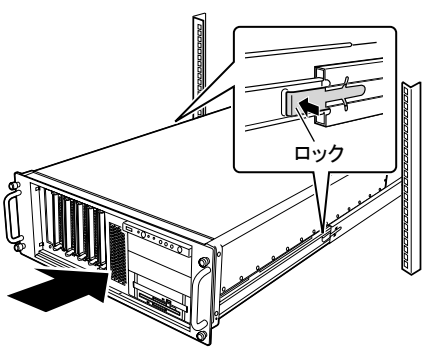
6 インナーレールにサーバ本体を取り付けます。

1. サーバ本体側面の取り付け溝にインナーレールの突起部分が収まるように、サーバ本体を上から差し込みます。
2. 取り付けたインナーレールのネジ穴とサーバ本体側面のネジ穴が合う位置まで、サーバ本体を後方へ押し込みます。
3. M3 サラネジでしっかりと固定します。
   ※両側各 2 箇所を固定してください。



7 サーバ本体を後方へスライドさせて、ラックに搭載します。

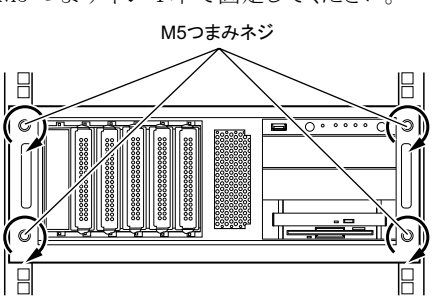
スライドレール両側のロックを矢印方向に押しながら、ゆっくりと後方へスライドさせて搭載します。



サーバ本体をスライドさせる場合や、元に戻す場合は、充分注意してください。指や衣服がはさまれて、けがをするおそれがあります。

8 サーバ本体とラックを固定します。

M5 つまみネジ 4 本で固定してください。



3 ラック搭載後の周辺装置接続について

サーバ本体をラックに搭載後、 各種周辺装置を接続してください。 ケーブル類を接続する際は、 サーバ本体をラックから引き出して作業することを考慮し、 余裕を持たせた配線を行ってください。

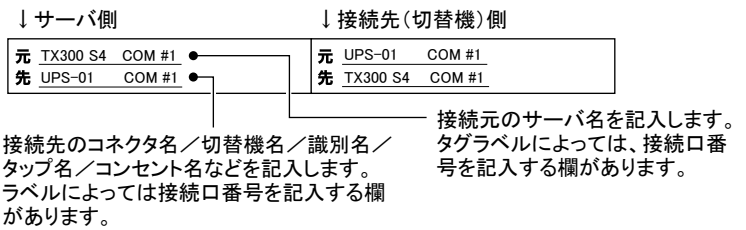
■各種ケーブルにタグラベルを貼り付ける

周辺装置の接続を行う前に、 添付のタグラベルを各ケーブルに貼り付けます。 タグラベルを貼り付けることによってケーブルの識別が容易になり、 ケーブルの接続ミスなどの事故を防止できます。

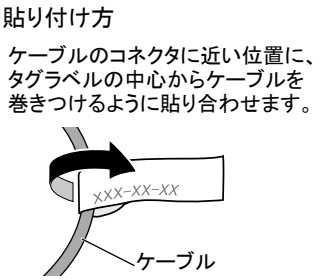
●記入例

タグラベルは次のように記入し、 ケーブル両側のコネクタに近い位置にそれぞれ 1枚ずつ貼り付けます。

●記入例

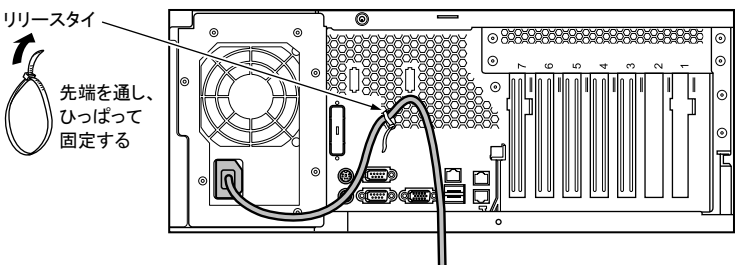


●貼り付け方



■電源ケーブルの固定

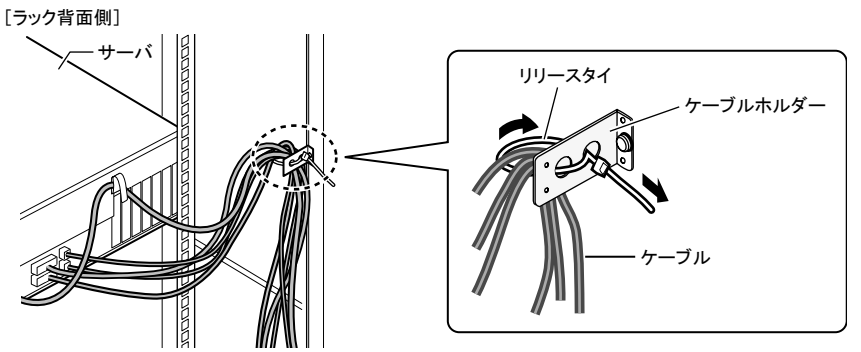
電源ケーブルをサーバ本体に接続したあとは、 サーバ本体を前面に引き出す際に電源ケーブルが抜け落ちることを防止するため、下図を参考にして、添付のリリースタイで換気孔と電源ケーブルのコネクタから 10cmくらいの箇所を固定してください。



なお、 電源ケーブルを抜くときは、 必ず本体側の電源コネクタを抜くようにしてください。

■ケーブルのフォーミング処理

すべてのケーブルを接続後、 ケーブルを種類または位置別に束ねて、 ラック背面側のケーブルホルダーに、 リリースタイで結びつけて固定してください。
これをフォーミング処理といい、 ラックに複数のサーバが搭載されている場合でも、 ケーブルの見分けが容易になります。



Copyright FUJITSU LIMITED 2008